

2022年6月23日

技術研究組合 CO₂ フリー水素サプライチェーン推進機構

川崎重工業株式会社

株式会社大林組

関西電力株式会社

神戸市

水素発電にオーストラリアから輸送した水素を使用

～水素を「つくる」「はこぶ」「ためる」「つかう」がひとつなぎの道になる～

技術研究組合 CO₂ フリー水素サプライチェーン推進機構（HySTRA）、川崎重工業株式会社、株式会社大林組、関西電力株式会社、神戸市の5者は、神戸市ポートアイランドの水素発電実証施設「水素 CGS 実証プラント」の発電実証（以下、本実証）で、オーストラリアから輸送してきた水素を使用しました。



基地から水素を運び出す様子



発電施設の燃料タンクに充填



水素 CGS 実証プラント

本実証により、水素をエネルギー利用するための「つくる」「はこぶ」「ためる」「つかう」というサプライチェーンが一つにつながるモデルケースを示すことができました。日本では、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、利用時に二酸化炭素を排出しない水素を利活用できる環境を構築するために様々な取り組みが実施されています。本実証は、5者がそれぞれカーボンニュートラルの実現のために挑戦してきた成果のひとつであり、海外から運んだ水素を国内で発電用燃料として利用するための大きな実績となりました。

5者は、本実証で得られた経験を活かし、今後も実証事業や技術開発を通じて、水素需給創出による好循環を通じた自立的な水素の普及拡大・社会実装に向けて取り組んでいきます。

【参考リンク】

・技術研究組合 CO₂ フリー水素サプライチェーン推進機構

<https://www.hystra.or.jp/>

以上